

予想コンペティション 予想理論提出シート

お名前(ハンドルネーム):まぐ

馬券理論名:余カラップセオリー in 若駒

馬券理論のジャンル:ラップ中心です。

あなたの馬券理論の強み・他と差別化できる部分(最大 200 文字程度)

近年は「期待値」を考えて購入する人が増えているように思います。

しかしパチンコ・スロットのように大当たり確率が決まってもいない競馬において正確な期待値など測定できません。

2022 年は期待値を考える人が激増したせいか、人気別の回収率に異変が生じました(データ後述)。

今回、私が提唱する理論は、純粹に強い馬を探すためのものです。

高い精度で的中させれば、期待値を気にする必要はありません。

補足データ:

人気別回収率(2019-2021 年)。

単勝人気	単勝回収率	複勝回収率	芝・単回収	芝・複回収率	ダ・単回収率	ダ・複回収率
1番人気	78%	83%	79%	89%	78%	84%
2番人気	79%	82%	77%	82%	81%	83%
3番人気	79%	81%	84%	81%	75%	81%
4番人気	75%	76%	75%	78%	74%	73%
5番人気	81%	77%	84%	77%	76%	76%
6番人気	86%	79%	76%	75%	96%	83%
7番人気	78%	74%	83%	72%	75%	76%
8番人気	72%	73%	76%	71%	67%	74%
9番人気	74%	75%	70%	77%	76%	74%
10番人気	74%	73%	85%	74%	64%	71%
11番人気以下	61%	63%	63%	63%	61%	62%

人気別回収率(2022年)

人気	着別度数					勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値	単適回
1番人気	1136-	830-	406-	1159/	3331	34.1%	53.0%	65.2%	81	84	81
2番人気	644-	604-	501-	1582/	3331	19.3%	37.5%	52.5%	79	83	80
3番人気	450-	474-	440-	1967/	3331	13.5%	27.7%	40.9%	81	78	80
4番人気	338-	377-	452-	2164/	3331	10.1%	21.5%	35.0%	82	79	83
5番人気	225-	324-	347-	2434/	3330	6.8%	16.5%	26.9%	76	76	77
6番人気	172-	238-	300-	2615/	3325	5.2%	12.3%	21.4%	77	78	82
7番人気	122-	197-	202-	2789/	3310	3.7%	9.6%	15.7%	70	72	80
8番人気	82-	149-	177-	2852/	3260	2.5%	7.1%	12.5%	66	73	74
9番人気	53-	109-	140-	2850/	3152	1.7%	5.1%	9.6%	65	74	67
10番人気	32-	78-	103-	2788/	3001	1.1%	3.7%	7.1%	53	65	56
11番人気	26-	45-	102-	2612/	2785	0.9%	2.5%	6.2%	66	79	64
12番人気	24-	60-	51-	2406/	2541	0.9%	3.3%	5.3%	72	68	83
13番人気	9-	26-	39-	2187/	2261	0.4%	1.5%	3.3%	52	63	44
14番人気	9-	12-	34-	1951/	2006	0.4%	1.0%	2.7%	50	55	64
15番人気	10-	6-	19-	1614/	1649	0.6%	1.0%	2.1%	80	58	108
16番人気	3-	3-	10-	1246/	1262	0.2%	0.5%	1.3%	65	48	55
17番人気	0-	0-	2-	249/	251	0.0%	0.0%	0.8%	0	23	0
18番人気	0-	1-	2-	189/	192	0.0%	0.5%	1.6%	0	67	0
19番以下	0-	0-	0-	0/	0						

複勝回収率に大差はありませんが、単勝回収率のピークが 5-6 番人気から 1-4 番人気に移行しました。

2023 年はまだ十分なサンプル数に至っていませんが、今のところ、2022 年に近い傾向が見られています。

その馬券理論(要素)に着目したきっかけ(最大 200 文字程度):

拙著『永遠の初心者を超すための競馬思考 第 1 巻』に「2 歳馬の能力をラップで見分ける方法」という章を設けました。

書いたことを自分で実践してみたところ、想像していたよりも遥かに有用だと気づきました。これが着目したきっかけです。

活用できるレースは「2.3 歳の未勝利戦・1 勝クラス・オープン特別・リステッド・G1 を含む重賞」になります。

予想手順

STEP1:

以下の基準ラップを確認して目ぼしい馬を探します。

なお、基準ラップは全て「レースラップ」になります。今の未勝利戦では基準到達馬が少ないため、足りていなくても極力基準に近い馬を探します。

惨敗馬ばかりのレースでは使えないなどの欠点もあります。

基準ラップ(芝)

L2:22.7 秒以内、もしくは、ラスト 2 ハロン 11.5 秒以内→11.5 秒以内

L3:上がり 2 位の馬に差を付けていること。目安は 0.5 秒。スローペースであればあるほどその価値は上がります。

L4:45.9 秒以内(1600m以上。阪神外回り・新潟外回りを除く)

L5:58.2 秒以内(1600m以上。阪神外回り・新潟外回りを除く)

基準ラップ(ダート)

L4:50.0 秒以内(1700m以上の新馬・未勝利に限る)

L1:12.3 秒以内(自身が L1 で 11 秒台を使っていると目視で確認できれば余力あり)

他に注目できるラップのポイント

・史上に残るようなラップ。

例 1:リバティアイランドの新馬戦の上がり 31.4 秒は新潟芝 1000mを除けば史上最速。

例 2:キラアビリティの小倉芝 2000mの L1・10.8 秒は史上最速。

・加速ラップ(ラスト 2F→1F だけの場合を含む)

・持続ラップ(0.1 秒だけの変動なら持続ラップに含む)

※追い風の影響などで L2 だけ時計が出ていたり、加速ラップになったりしている場合があります。同日の他レースのラップも必ず確認が必要です。

・変則ラップ(失速ラップが普通の中山ダート 1200mで 4F→5F が加速している等)

※ラップは武道などの「型」に近いと思っています。新潟芝 1000mができた初期のラップと、今のラップは全く違っています。当時は騎手がより速く走れる「型」を模索していたのです。今では多くのコースで「型」ができあがっています。そこから外れたラップは、高レベルか低レベルかのどちらかである場合が多いと言えます。「型」も同様に、敢えて型を外して相手の裏をかいて勝つ、型を無視して負ける、ということが起こります。

※「速ければ速いほど良い」というのが理論の根幹になります。

「純粹速度」の高い馬が、競馬において強いのです。

速く走れる馬は高速馬場で強いのはもちろんのこと、低速馬場になっても時計的に走れる速度内に収まります。一方、速く走れない馬は、高速馬場になった時、時計的に走れる速度内に収まりません。

たとえば、中山芝は東京芝よりも後半が遅くなりますが、純粋に速いラップを刻めるという点が重要です。中山にしては速い、というのはアテになりにくいと言えます。ですが、当日の馬場差を考慮することも重要になります。

ドルチェモアの新馬戦は札幌芝 1500mでL2が「11.5-11.7」と惜しくも基準をクリアしていませんが、当時の馬場差は+0.6秒。洋芝の札幌の中でも時計がかかっていました。同日のレースでは後半に11.7秒が出たレースすらなかったため、評価に値します。

このように惜しくも基準到達に満たなかった場合は、同日の他レースと比較することで正確さを保てます。

※惨敗馬ばかりのレースの時には使えません。理論上の欠点と言えます。

※L4.5基準をクリアしている場合は、高い持続力を持っている証拠となります。

馬が全速力で走れる距離は、約400mだと聞きます。

L4.L5で速い時計を出せるのは、長く良い脚を使える馬しかできないのです。

一方、L2基準は余力や「純粋速度」があるかどうかを判断しています。余力があるとしても、ペースが上がって時計を求められるようになった時、どこまで時計を短縮できるかには個体差が出ます。

したがって、**L4.5F基準 > L2F基準**、という序列になります。

STEP2:

レース質マトリックスに基づいてトラックバイアスや展開・有利な枠順・脚質を検討した上で、該当馬の脚質・枠番を確認します。

レース質マトリックスほど厳密に考える必要はありませんが、極端なバイアスがある時は特に重視します。バイアスが少ないレースの方が信頼度は上がります。

特に枠順の持つ影響は大きくなっています。

不利と判断すれば、別の馬を探します。

基準に全く達していないのに、他馬よりも基準到達に近いからと無理に1頭を選ぶ必要はありません。予想しないことも重要です。

STEP3:

1・2をクリアした馬が1頭の場合は素直にその馬を本命にして構いません。

複数いる場合は、スタートとL2のレース映像を確認します。

スタートは出遅れと不利を見ます。主に新馬戦を見ることが多くなる性質上、出遅れの有無は重要です。出遅れていない方がベターですが、スタートは2戦目から改善する場合も多いのも事実です。基準をどの程度クリアしているかも考慮した上で、総合的に判断します。L2

を目視するのは、逃げ馬以外の場合、最後にどの程度のラップを踏んでいるのか大まかに判断するためです。同時に、不利・通った進路も確認します。

それで問題がなければ、本命にします。

なお、以下の表に基づけば、馬個別のラップをおおよそ判断できます。

着差	秒数	1馬身の秒数
1馬身	0.2秒	0.2秒
2馬身	0.3秒	0.15秒
3馬身	0.5秒	0.167秒
4馬身	0.7秒	0.175秒
5馬身	0.8~0.9秒	0.17秒
6馬身	1.0秒	0.167秒

1

具体例:

2023/3/19の中山4Rで勝利したタリエシンは、未勝利勝ちが変則ラップだったのでそれ自体で評価できません(レースラップ:11.9-11.2-12.3-12.3-12.0-12.8)。

未勝利戦を目視すると、L1で先頭とは1馬身差。勝った時は2着に1馬身差を付けているので、L1はレースラップの12.8秒より0.3秒速い12.5秒だと想定できます。

その前の3着だった未勝利戦はL1で前と6馬身以上の差があり、最後は1馬身半差。5馬身は差を詰めていたと想定して、L1はレースラップの13.2秒よりも0.8~0.9秒ほど速いと考えられます。L1は推定12.4~12.5秒となります。

基本的に失速ラップになる中山ダート1200mとしては、どちらも余力あるラップと判断して問題ありません。

また、L1が急坂になっている中山と阪神は坂の得手不得手も同時に分かります。タリエシンはL1での伸び方から、中山ダート1200mが得意な馬と判断できます。

¹ <https://team-d.club/prediction-column/how-many-seconds-is-one-horse/> 「1馬身 = 0.2秒」ではない。1馬身あたりの秒数の結論。

その他の重要ポイント:

- ・芝で基準ラップを満たしたレースの上位馬が次走、ダート替わりの時は特に評価しません(ダートから芝も同様)。手動で調べた限りでは、来る馬もいれば来ない馬もいます。好走率が取れないので本理論の主旨に反しています。
- ・基準クリアレースの勝ち馬、及び、上位馬は、1F程度の距離延長を全く苦にしない場合が多いと言えます。

「余力ある」ラップを出せるということは、そもそもスタミナに余裕があるからです。距離短縮有利・距離延長不利は一般的に知られていて人気に反映されやすいこと、追走が楽になること、という理由から距離延長馬はむしろ積極的に買いになります。しかし、2F以上の延長は飛ぶ危険性が高まります。2F以上の延長の場合、他馬も距離延長ばかりかどうか・スローペースの時を狙う・血統を確認するなどが必要です。

データによる理論の確認:

2023/4/3 時点の現3歳馬を対象とします。

L2・22.7秒以内の勝ち馬総数・のべ102頭(1000mは除く・L4.5対象馬と同時に検索できないため、L2基準・22.7秒以内のみを対象)

次走成績

	1着-	2着-	3着-	4着-	5着-	着外/	合計(勝率/連対率/複勝率)	単回収値/複回収値
全成績	17-	15-	11-	8-	5-	31/	87(19.5%/ 36.8%/ 49.4%)	91円 / 108円
芝	17-	15-	11-	8-	5-	30/	86(19.8%/ 37.2%/ 50.0%)	92円 / 109円
ダート	0-	0-	0-	0-	0-	1/	1(0.0%/ 0.0%/ 0.0%)	0円 / 0円
特別	15-	15-	11-	7-	5-	30/	83(18.1%/ 36.1%/ 49.4%)	90円 / 110円
牝馬	6-	8-	3-	3-	3-	14/	37(16.2%/ 37.8%/ 45.9%)	107円 / 147円
1人気	8-	4-	2-	1-	1-	5/	21(38.1%/ 57.1%/ 66.7%)	79円 / 77円
マル外	0-	0-	3-	0-	0-	1/	4(0.0%/ 0.0%/ 75.0%)	0円 / 95円

ベタ買いで複回がプラスになっています。

続いて距離別成績。

レース一覧・次走成績一覧											
成績	シェア	賞金	全て	★1	★2	★3	★4	★5	★6	★7	★8
前走平地距離	着別度数			勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値	単適回値	平均着	
同距離	12-	6-	4-23/45	26.7%	40.0%	48.9%	147	118	106.3	5.0着	
±200以内	16-	15-	11-42/84	19.0%	36.9%	50.0%	90	108	81.2	4.9着	
±400以内	17-	15-	11-43/86	19.8%	37.2%	50.0%	92	109	84.1	4.9着	
±600以内	17-	15-	11-44/87	19.5%	36.8%	49.4%	91	108	83.5	4.9着	
今回延長	5-	5-	2-15/27	18.5%	37.0%	44.4%	48	85	91.4	5.3着	
今回短縮	0-	4-	5- 6/15	0.0%	26.7%	60.0%	0	116	0.0	4.1着	
500m以上延長	0-	0-	0- 1/ 1	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0.0	8.0着	
500m以上短縮	0-	0-	0- 0/ 0								
1000m	0-	0-	0- 0/ 0								
1150m	0-	0-	0- 0/ 0								

延長では複回が100%に達していませんが、中には2F以上延長・短縮馬やダート替わり、余カラップで好走してきた馬の集まるG1挑戦、枠・脚質不利が含まれています。短縮は複回がベタ買いでプラス。

この中から枠別成績を確認します。

レース一覧・次走成績一覧											
成績	シェア	賞金	全て	★1	★2	★3	★4	★5	★6	★7	★8
枠番	着別度数			勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値	単適回値	平均着	
1枠	2-	2-	0- 5/ 9	22.2%	44.4%	44.4%	265	133	175.5	5.0着	
2枠	2-	4-	1- 1/ 8	25.0%	75.0%	87.5%	83	350	100.9	2.1着	
3枠	4-	2-	1- 4/11	36.4%	54.5%	63.6%	176	108	115.6	3.4着	
4枠	3-	1-	1- 5/10	30.0%	40.0%	50.0%	69	90	100.8	4.4着	
5枠	1-	3-	1-10/15	6.7%	26.7%	33.3%	11	64	27.0	5.1着	
6枠	1-	0-	1- 9/11	9.1%	9.1%	18.2%	73	28	52.2	8.2着	
7枠	1-	1-	5- 5/12	8.3%	16.7%	58.3%	27	98	41.2	5.2着	
8枠	3-	2-	1- 5/11	27.3%	45.5%	54.5%	87	78	108.6	5.4着	

外枠が悪い成績になっています。「STEP2」の意義を確認できました。

次はL2・22.7秒以内の「2着馬」に焦点を当ててみます。

次走成績

	1着-	2着-	3着-	4着-	5着-	着外/	合計(勝率/連対率/複勝率)	単回収値/複回収値
全成績	30-	14-	9-	5-	8-	25/	91(33.0%/ 48.4%/ 58.2%)	79円 / 76円
芝	30-	12-	8-	4-	8-	25/	87(34.5%/ 48.3%/ 57.5%)	82円 / 73円
ダート	0-	2-	1-	1-	0-	0/	4(0.0%/ 50.0%/ 75.0%)	0円 / 142円
特別	2-	1-	2-	0-	3-	4/	12(16.7%/ 25.0%/ 41.7%)	40円 / 50円
牝馬	12-	7-	7-	3-	3-	13/	45(26.7%/ 42.2%/ 57.8%)	73円 / 81円
1人気	22-	9-	2-	3-	2-	5/	43(51.2%/ 72.1%/ 76.7%)	89円 / 88円
マル外	1-	1-	0-	0-	0-	0/	2(50.0%/100.0%/100.0%)	95円 / 170円

総合的にはイマイチ。ここから着差 0.5 秒以内・新馬か未勝利で 2 着だった馬に絞り込みます。次走ダート替わりも除きます。

	1着-	2着-	3着-	4着-	5着-	着外/	合計(勝率/連対率/複勝率)	単回収値/複回収値
全成績	28-	12-	7-	4-	8-	19/	78(35.9%/ 51.3%/ 60.3%)	87円 / 77円
芝	28-	12-	7-	4-	8-	19/	78(35.9%/ 51.3%/ 60.3%)	87円 / 77円
ダート	0-	0-	0-	0-	0-	0/	0	
特別	2-	1-	2-	0-	3-	4/	12(16.7%/ 25.0%/ 41.7%)	40円 / 50円
牝馬	11-	6-	5-	3-	3-	11/	39(28.2%/ 43.6%/ 56.4%)	80円 / 76円
1人気	20-	9-	2-	3-	2-	4/	40(50.0%/ 72.5%/ 77.5%)	87円 / 89円
マル外	1-	0-	0-	0-	0-	0/	1(100.0%/100.0%/100.0%)	190円 / 120円

まだまだイマイチなので枠別成績を確認。

レース一覧・次走成績一覧											
成績	シェア	賞金	全て	★1	★2	★3	★4	★5	★6	★7	★8
枠番	着別度数			勝率	連対率	複勝率	単回値	複回値	単適回値	平均着	平
1 枠	5-	2-	1- 0/ 8	62.5%	87.5%	100.0%	261	170	154.6	1.5着	2.
2 枠	2-	1-	0- 4/ 7	28.6%	42.9%	42.9%	92	57	81.7	4.1着	1.
3 枠	1-	0-	0- 2/ 3	33.3%	33.3%	33.3%	50	36	78.9	6.0着	1.
4 枠	3-	2-	1- 3/ 9	33.3%	55.6%	66.7%	55	64	81.2	3.8着	1.
5 枠	7-	1-	0- 2/10	70.0%	80.0%	80.0%	140	103	147.0	2.5着	1.
6 枠	5-	1-	3- 4/13	38.5%	46.2%	69.2%	78	84	107.2	3.8着	2.
7 枠	0-	1-	2- 7/10	0.0%	10.0%	30.0%	0	34	0.0	6.0着	4.
8 枠	5-	4-	0- 9/18	27.8%	50.0%	50.0%	57	62	81.6	4.2着	2.

どうやら、外枠に入る率が高かったのだと判明しました。

7.8 枠を除外すれば単回 116%、複回 91%。いざ予想すれば、L2 の基準ラップをどの程度クリアしているか、具体的に確認できるので精度が上がりそうです。

やはり枠、脚質も重要だろうということで、STEP2 の重要性が確認できました。

次の重要ポイントに移ります。

・逃げ切り勝ちや逃げて僅差敗退の馬は減点となります。逃げ馬の次走は回収率が低いと有名ですが、次走で逃げられるか分からないこと、若駒の時から逃げている馬は将来よりも今勝ちに来ている可能性が高いこと、などが理由です。対して、差して勝った馬はプラス評価できます。

※基準ラップクリアの逃げ切り勝ちで、その後がイマイチな馬の該当例: マイネルカーライル、エナジーチャイム、レッドロスタム、クファシル、(オープンで微妙な)シーウィザード

基準ラップ内で逃げ切り勝ちを収めた馬の次走成績

	1着-	2着-	3着-	4着-	5着-	着外/	合計(勝率/連対率/複勝率)	単回収値/複回収値
全成績	3-	3-	2-	3-	0-	10/	21(14.3%/ 28.6%/ 38.1%)	47円 / 72円
芝	3-	3-	2-	3-	0-	10/	21(14.3%/ 28.6%/ 38.1%)	47円 / 72円
ダート	0-	0-	0-	0-	0-	0/	0	
特別	3-	3-	2-	2-	0-	10/	20(15.0%/ 30.0%/ 40.0%)	50円 / 76円
牝馬	2-	1-	0-	2-	0-	5/	10(20.0%/ 30.0%/ 30.0%)	63円 / 79円
1人気	0-	0-	1-	0-	0-	2/	3(0.0%/ 0.0%/ 33.3%)	0円 / 0円
マル外	0-	0-	1-	0-	0-	0/	1(0.0%/ 0.0%/100.0%)	0円 / 0円

こちらも外枠成績が悪いのですが、そもそも複勝率が低くて精度に欠けます。個人的にはベラジオオペラ、タッチウッド、L5 基準を満たしているライトクオンタム・エアメテオラなどは逃げていても評価していたので、選別が必要になりそうです。

基準ラップ内で逃げて2着だった馬の次走成績

	1着-	2着-	3着-	4着-	5着-	着外/	合計(勝率/連対率/複勝率)	単回収値/複回収値
全成績	5-	2-	1-	0-	3-	5/	16(31.3%/ 43.8%/ 50.0%)	60円 / 75円
芝	5-	2-	1-	0-	3-	5/	16(31.3%/ 43.8%/ 50.0%)	60円 / 75円
ダート	0-	0-	0-	0-	0-	0/	0	
特別	0-	1-	1-	0-	1-	0/	3(0.0%/ 33.3%/ 66.7%)	0円 / 116円
牝馬	0-	2-	1-	0-	1-	2/	6(0.0%/ 33.3%/ 50.0%)	0円 / 93円
1人気	4-	1-	0-	0-	1-	1/	7(57.1%/ 71.4%/ 71.4%)	85円 / 84円
マル外	1-	0-	0-	0-	0-	0/	1(100.0%/100.0%/100.0%)	190円 / 120円

好走率こそ良いものの、回収率が取れません。こちらも選別が必要となりそうです。

ダートについてもデータを提示しておきます。

L4:50.0 秒以内(1700m以上の新馬・未勝利に限る)

基準ラップ内で1着だった馬の次走成績

	1着-	2着-	3着-	4着-	5着-	着外/	合計(勝率/連対率/複勝率)	単回収値/複回収値
全成績	3-	2-	1-	0-	1-	8/	15(20.0%/ 33.3%/ 40.0%)	36円 / 56円
芝	0-	0-	0-	0-	0-	2/	2(0.0%/ 0.0%/ 0.0%)	0円 / 0円
ダート	3-	2-	1-	0-	1-	6/	13(23.1%/ 38.5%/ 46.2%)	41円 / 65円
特別	2-	1-	0-	0-	0-	2/	5(40.0%/ 60.0%/ 60.0%)	82円 / 68円
牝馬	0-	0-	0-	0-	0-	4/	4(0.0%/ 0.0%/ 0.0%)	0円 / 0円
1人気	3-	0-	0-	0-	0-	0/	3(100.0%/100.0%/100.0%)	180円 / 113円
マル外	0-	0-	0-	0-	0-	2/	2(0.0%/ 0.0%/ 0.0%)	0円 / 0円

現時点で回収率は取れていませんが、この手の馬は近い内に穴をあける馬が出てくるはず
です。拙著においても、次走で負けてもその次で来る場合が多いと書きました。

基準ラップ内のレースで2着だった馬の次走成績(1.0秒以上離された場合を除く)

	1着-	2着-	3着-	4着-	5着-	着外/	合計(勝率/連対率/複勝率)	単回収値/複回収値
全成績	7-	3-	2-	1-	1-	3/	17(41.2%/58.8%/70.6%)	74円 / 82円
芝	0-	0-	0-	0-	0-	0/	0		
ダート	7-	3-	2-	1-	1-	3/	17(41.2%/58.8%/70.6%)	74円 / 82円
特別	0-	0-	0-	0-	0-	0/	0		
牝馬	3-	2-	1-	0-	0-	0/	6(50.0%/83.3%/100.0%)	100円 / 121円
1人気	6-	1-	1-	1-	0-	2/	11(54.5%/63.6%/72.7%)	89円 / 83円
マル外	1-	0-	0-	0-	0-	0/	1(100.0%/100.0%/100.0%)	120円 / 100円

全て3番人気以内ですが、平均以上の成績を出しています。馬券外の5頭の内訳は、道悪小倉ダートの外枠、阪神ダート1800mの内枠、1400mへの距離短縮、位置を取れなかった、原因不明、になります。

馬券から飛んだ馬の内、次走を使っている3頭は全て巻き返しています。

芝同様、いざ予想する時、どの程度基準ラップをクリアしているかを確認することで精度は上がるでしょう。

後半の速さが強さにつながるということは、後半が遅かった場合は弱いことが多いと考えられます。L1・13.5秒以上かかった新馬・未勝利で勝った馬の次走を調べてみました。

L1・13.5秒以上かかった新馬・未勝利で勝った馬の次走成績(ダート1700m以上)

	1着-	2着-	3着-	4着-	5着-	着外/	合計(勝率/連対率/複勝率)	単回収値/複回収値
全成績	1-	1-	5-	1-	2-	20/	30(3.3%/6.7%/23.3%)	171円 / 136円
芝	0-	0-	0-	0-	1-	1/	2(0.0%/0.0%/0.0%)	0円 / 0円
ダート	1-	1-	5-	1-	1-	19/	28(3.6%/7.1%/25.0%)	183円 / 146円
特別	0-	0-	2-	0-	1-	7/	10(0.0%/0.0%/20.0%)	0円 / 45円
牝馬	0-	0-	4-	0-	1-	6/	11(0.0%/0.0%/36.4%)	0円 / 244円
1人気	0-	0-	1-	0-	0-	0/	1(0.0%/0.0%/100.0%)	0円 / 160円
マル外	0-	0-	1-	0-	0-	0/	1(0.0%/0.0%/100.0%)	0円 / 160円

回収率が良いのは、13番人気の馬が1着と3着を1回ずつ挙げているからです。

好走率が低いので、考え方は概ね間違っていないのではないのでしょうか。

ダート馬は、使って良くなる馬が多いこと、成長度が重要であること、持ち時計・高いスピード指数が重要であること、などから芝よりもラップの重要性が薄れると考えています。

また、ダートは単純にタイム基準を設けるよりも、加速ラップ・持続ラップが有効であったり、他馬と相対比較したりすることの重要性が高くなります。

以下は私の今年の3歳ダート戦の成績です(ブログに事前に書いたもののみ集計)。

	1着-	2着-	3着-	4着-	5着-	着外/	合計(勝率/連対率/複勝率)	単回収値/複回収値
全成績	30-	19-	15-	9-	9-	35/	117(25.6%/ 41.9%/ 54.7%)	116円 / 96円
芝	0-	0-	0-	0-	0-	0/	0		
ダート	30-	19-	15-	9-	9-	35/	117(25.6%/ 41.9%/ 54.7%)	116円 / 96円
特別	0-	1-	0-	0-	1-	0/	2(0.0%/ 50.0%/ 50.0%)	0円 / 95円
牝馬	7-	7-	7-	4-	2-	15/	42(16.7%/ 33.3%/ 50.0%)	56円 / 92円
1人気	13-	8-	3-	2-	2-	2/	30(43.3%/ 70.0%/ 80.0%)	74円 / 92円
マル外	3-	0-	1-	2-	0-	1/	7(42.9%/ 42.9%/ 57.1%)	87円 / 78円

昨年まで私はスピード指数重視でしたが、今年は主にラップやL2目視で予想しています。タイム基準をクリアしているかどうかにかかわらず、相手と比較すること、基準を多少アウトに見ることなどが重要と考えています。

タイム基準はシビアで、クリアする該当頭数が少なくなります。だからといって基準を緩くしてしまうと好走率も回収率も取れなくなります。

の中レースを使った理論解説(上記予想手順に沿う形で最大 400w):

※立川杯での的中はすでに公になっているものとして除外します。

2023/1/28 東京 10R クロッカス S

◎7 サトノヴィレ:未勝利勝ち L2 が 22.5 秒。高速馬場の新潟なので割引は必要ですが、上がり 3F では次点に 0.9 秒も付けていました。その後は延長・同距離・上がりのかかるレースで負けてきたことから、短縮と高速馬場が買い時と判断。本レースが該当しました。6 番人気と高配当でした。

勝った 2 番人気ヤクシマは、新馬戦加速ラップの差し切り、中京 2 歳 S の L2 が 22.7 秒で上がり最速。3 着の 1 勝クラスは L22.4 秒で 3 着。1F 延長を苦にするタイプではありません。

1・3 番人気馬は余カラップに該当がなし。2 番人気ブーケファロスにダリア賞を加速ラップで 0.1 秒差 3 着でしたが、1200m 黒松賞で圧勝したことから、ビッグアーサー産駒らしく 1200m 特化と判断。

結果、余カラップ馬のワンツースタイルでした。